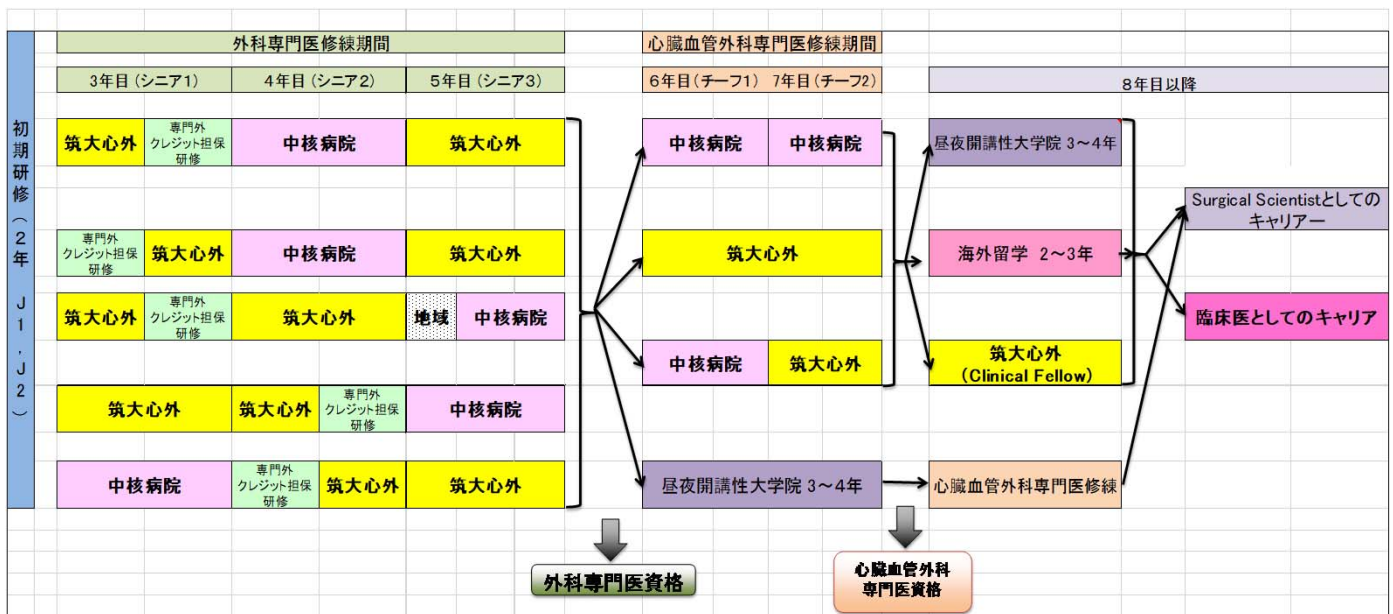


心臓血管外科コース

あらゆる心臓血管疾患に最新技術と繊細な手技を以って挑む心臓血管外科医は、重い使命を負うことを許された限られた人間です。心臓血管疾患の手術技術はもとより、画像読影、診断プロセス、術中術後管理、体外循環管理、感染対策、クオリティーマネージメントなど、あらゆる観点からの臨床能力を常に高め続ける努力と責任感が求められます。さらに、基礎研究や先進医療開発を目的とした大学院教育を通じて、academic surgeonとしての素養も身につけることができます。大学教育や高度機能病院での高難度手術への関与、国際医療への貢献など、幅広い将来像を描くことができます。

モデルプラン



【解説】 外科専門医資格を取得するまでの3年(場合によっては4年)の内、1年6ヶ月は基幹病院である筑波大学附属病院心臓血管外科で研修を行う。心臓血管外科以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認める(3年間のうち、1-2年目の早い時期に修め、後半は心臓血管外科研修に集中する事が望ましい)。地域医療における外科診療の役割を理解し、実践できるように、地域病院での研修を組み込むことも可能。

学術研究を通じて、論理的な思考過程をトレーニングする大学院進学は、外科専門医取得後早期あるいは心臓血管外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事が出来る。早期に大学院に進学した場合、その後心臓血管外科専門医資格を取得する臨床研修を行う。

大学院に進学しない専攻医の場合、8年目以降にクリニカルフェローとして主に臨床研究を行い、学術的思考をトレーニングする。

- ＝中核病院＝
- 【茨城県北地区】 日立製作所日立総合病院
 - 【水戸地区】 茨城県立中央病院・水戸済生会総合病院・茨城県立こども病院
 - 【茨城県南】 筑波大学附属病院・筑波メディカルセンター病院
 - 【茨城県西地区】 茨城西南医療センター病院
 - 【茨城県外】 東京都立小児総合医療センター・弘前大学・山形大学・関西医科大学・杏林大学 など

＝地域病院＝ 小山記念病院・筑波学園病院・霞ヶ浦医療センター など(外来診療のみ)